

『Ita Tube』



チャンネル登録
ぜひお願いします！

最新動画

【血管撮影装置Alphenixのご紹介】

今号で紹介しております、新しい血管撮影装置「Alphenix」のご紹介動画です。ぜひご覧ください。



当院の最新情報やお得な情報をお届けします。健康診断のお知らせ、みなさまのニーズに応えた、種類豊富な人間ドックのキャンペーンなどの詳細をお知らせします。

OLINEのトーク画面で、キーワード検索ができます。知りたい情報のキーワードを送信！
・「アクセス」… 当院の交通アクセスページ
・「休診」… 休診情報の一覧ページ
など、該当のURLが返信されます！
急いでいるときや、すぐに情報が知りたい場合にはこのキーワード検索が便利です。

友だち登録はこちらから

『@903irgon』でID検索！



PLAZA IMS

夏号 Vol.64

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気にに関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。



病院受診、入院・介護施設選びに困ったら
イムス総合サービスセンター（GSセンター）へ



STEP 1 相談 GSセンターにお電話かHPのメールフォームでご相談を！相談窓口専任スタッフがみなさまのお悩みをお伺いします。

STEP 2 情報提供 IMSグループ医療機関の選定、医療機関・制度などの情報提供。GSセンターで可能なコーディネーター内容の紹介など。

STEP 3 受診決定 ご希望とマッチングした際、IMSグループ医療機関へ受診決定！
【外来受診】受診希望施設へ受診日・時間（予約含む）
対象者さま基本情報等の連絡
【入院（所・居）・転院】希望施設の医療福祉相談室担当者を紹介

好評配信中
疾患別セルフチェック

健康セルフチェック



gscenter@ims.gr.jp

※右のQRコードをご利用いただくに便利です。
※24時間365日受付。2営業日以内にご返信します。

※**0800-800-1632**

※[050]からはIP電話および国際電話からはご利用いただけません。
受付時間 / 平日 8:30~17:30 土曜日 8:30~12:30(日祝・年末年始休み)

イムス総合サービスセンター
<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

—理念—

安全で最適な医療を提供し、
「愛し愛される病院」として社会に貢献する。

《板橋中央総合病院 基本方針》

1. 私たちは、「求められる」医療を提供するために創意工夫します。
2. 私たちは、地域連携を強化し、地域包括ケアシステムに貢献します。
3. 私たちは、コミュニケーション能力を備えたプロフェッショナルな職員を育成します。

TEL 03-3967-1181(代表)

HP <https://ims-itabashi.jp/>



ACCESS

〒174-0051
東京都板橋区小豆沢2-12-7
都営地下鉄三田線「志村坂上駅」下車
A1 / A3 出口より徒歩1分

CONTENTS

頭を切らずに治療が可能な脳血管内治療
—広がる治療の選択肢

脳卒中センター 多職種連携によるチーム医療
脳ドック 受けてみませんか？

ITACHU NEWS

脳卒中センター

多職種連携によるチーム医療

当院の脳卒中センターはSCU (stroke care unit) と一般病棟から構成されております。
脳神経外科、脳血管内治療科、総合診療内科の脳卒中に関連する診療科での治療が行われており、看護部、リハビリテーション科、薬剤部、ソーシャルワーカーなど、多職種連携で医療にあっております。週に1度カンファレンスを行い、臨床情報の共有、検討を行い、より良い治療を提供できるように努めております。

脳卒中センターチーム



- 脳神経外科専門医 7名
- 脳卒中専門医 6名
- 脳血管内専門医 2名 (3名に増員予定)
- 総合診療内科医 数名
- 精神科医 1名 (リエゾン)

2021年7月現在

SCU stroke care unit

SCUとは脳卒中のためにデザインされた集中治療室であり、専門のスタッフや医療機器など一定の基準を満たした施設に認可された病床のことです。多職種で構成する脳卒中専門チームが、脳卒中急性期から集中的な治療と早期からのリハビリテーションを計画的かつ組織的に行います。脳卒中の初期治療をSCUで行うことは一般病棟での治療と比べ、脳卒中の悪化や再発、肺炎などの感染症および死亡率が有意に低下し在宅復帰率の上昇、在院日数の短縮効果が得られるとされています。当院では2021年2月、厚生労働省からの認可を受けSCUを稼働しています。



血管撮影装置をバージョンアップ

2021年7月から新たな血管撮影装置 Alphenixを導入いたしました



世界最小画素サイズ 76ナノメートルを実現

造影剤使用量の低減

手技時間の短縮

カテーテルを目的の臓器まで挿入し、造影剤を注入して血管を撮影する装置で正面・側面の2方向から同時に撮影することができるため、検査時間や造影剤の量を軽減することができます。また、動脈瘤や血管狭窄、閉塞など緊急を要する際にもより正確な検査・診断を行うことが可能になりました。

頭を切らずに治療が可能な脳血管内治療—広がる治療の選択肢



当院では二次救急施設として多数の救急車を受け入れておりますが、(年間9,000台以上)、脳卒中患者さんの搬入も多く含まれ、その加療にもあたってまいりました。それらの中の重傷者や手術が必要だった患者さまの多くはICUでの治療管理としてきましたが、令和元年12月に脳卒中・循環器病対策基本法が成立したのを機に脳卒中に特化した医療チームを作りSCUを設立して集約的治療とし、綿密な医療で更なる生命予後、機能予後の改善を目指す事としました。

ただ、そのためには責任ある施設でなければいけませんので、これまで通り24時間救急受入れ可能、手術も24時間いつでも大丈夫という仕組みはもちろん、近年は開頭などの外科手術以外に血管内治療の必要性が格段に増えてきておりますので、それらの人員も増員しての開設となりました。今後板橋中央総合病院の理念に基づき患者さんの喜ぶ医療を実践すべくSCUの運営にあたる所存です。

Focus 日本脳神経血管内治療専門医

当院では脳血管内治療の大きな要とも言える日本脳神経血管内治療専門医が2名在籍しております。この日本脳神経血管内治療専門医は脳神経外科専門医の基礎訓練5年以上、専門訓練1年の経験と脳動脈瘤や動静脈奇形などの症例を100例という経験などが必要であり、まさに脳血管内治療のスペシャリストと言えます。今後はもう1名増員予定となっており、さらに脳血管内治療を充実させていきます。

■「脳卒中」。よく耳にしますが、どんな病気なのでしょうか。

脳卒中とは大きく脳梗塞、くも膜下出血、脳出血の3つに大別されます。簡単に言うと、脳の血管が詰まり、脳の一部が機能なくなってしまうほうが脳梗塞、脳の血管が破れて血液が漏れだし、脳の組織が破壊されてしまうほうが、くも膜下出血、脳出血を指します。脳卒中の中でも特に多いのが脳梗塞で、発症すると言葉がうまく話せなかったり、運動障害がおこったりします。このような場合は、直ちに救急車で脳卒中の専門の医療機関を受診することが、その後の予後が良い方向に向かう可能性に結びつきます。

■脳血管内治療とはどのような治療ですか。

脳血管内治療はカテーテルを用いて脳血管に対して処置を行う治療法です。カテーテルを用いて行う治療は一般的には開頭術などの外科治療よりも体に対する負担や痛みは少ないことが多いため、治療器具の改良による安全性の向上に伴い、年々治療症例数が増加しています。

・脳動脈瘤破裂を防ぐ

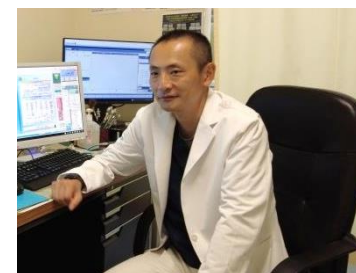
「くも膜下出血」。皆さんも一度は耳にしたことがあるでしょうか。これは脳血管にできる瘤(脳動脈瘤)の破裂によって引き起こされます。これを未然に防ぐため、早めに脳動脈瘤を見つけ治療をすることが可能です。一度破裂すると死亡率は高く、また容易に再破裂を引き起こすようになります。これをカテーテルで治療する場合、マイクロカテーテルを動脈瘤内に誘導し、マイクロカテーテルからプラチナ製のコイル状のものを詰めて充填します。これにより脳動脈瘤内で血栓ができ動脈瘤内に血流が流れなくなるため、破裂を防ぐことができます。

・頸動脈ステント留置術

「頸動脈狭窄症」。脳梗塞の1つに含まれ、動脈硬化によって引き起こされた頸動脈や脳の血管の狭窄のことです。先端に小さな風船がついたバルーンカテーテルで拡張させたり、ステントという金属の網でできた筒状のものを留置することによって広げ、これによって脳梗塞の発症を未然に防ぐことができます。

・機械的血栓回収療法

脳血管が閉塞すると脳細胞に酸素が運搬されなくなり脳梗塞を引き起こします。これを早い段階で再開通されれば脳梗塞にならずにすみます。血栓の詰まった血管にマイクロカテーテルを誘導し、そこから先端にステントのついたワイヤーを血栓にからめて引き抜いたり、血栓を吸引するためのカテーテルを閉塞しているところまで誘導して吸引を行ったりして血栓を回収します。



脳神経外科
医長 星野 達哉

医学博士
日本脳神経科学会専門医
日本脳神経血管内治療学会認定専門医
日本脳卒中学会専門医



脳神経外科
医師 片桐 彰久

日本脳神経科学会専門医・指導医
日本脳卒中学会専門医・指導医
日本脳神経血管内治療学会専門医
厚生労働省臨床研修指導医養成講習会修了
日本臨床高気圧酸素・潜水医学会評議員
日本臨床高気圧酸素・潜水医学会専門医

脳卒中センターページは
こちらからご覧いただけます



受けてみませんか？

1日6名限定

日曜脳ドック

- ✓ 高血圧
- ✓ 糖尿病
- ✓ 脂質異常症
- ✓ 飲酒や喫煙が多い方

該当する方は
脳卒中のリスクが高まります！
ぜひご検討を！



実施日

9/5(日)・10/17(日)・11/7(日)
12/5(日)・3/6(日)・3/20(日)

内容

30,250円(税込)
頭部MRI(磁気共鳴断層撮影装置)
頭部MRA(磁気共鳴血管撮影装置)
頸部MRA(磁気共鳴血管撮影装置)

結果は
ご郵送

窓口

B館1階
地域健康相談室
03-3967-1181(代表)



総合診療内科主任部長の友田義崇医師が NHK『ニュース7』にてコロナ病床状況についてコメント

総合診療科主任部長 友田 義崇医師がNHKの取材を受け、その模様が8月6日(金)19時~放送のニュース7』で放送されました。



板中HPのNEWSページもご覧ください！



9月20日(月)、23日(木) 祝日診療を実施

平日は仕事や家事が忙しくて病院へ行けないという方、健康診断を受けたいけど忙しくてなかなか受けられないという方、平日よりも比較的空いていますので、通院されている方もこの祝日にご受診されてみてはいかがでしょうか。

板橋区健診はお済みですか？

板橋区健診は実施期間が延長され、11月30日(火)まで実施しています。板橋区健診は普段の外来受診ではわからない詳細な検査項目を調べることができます。また、9月20日(月)、23日(木)もご受診いただけます。午後の時間帯は午前よりも空いており、ご案内がスムーズで、おすすめです！祝日も比較的空いておりますので、是非ご検討ください！